

2020 年 9 月 2 日

分会長 様  
支部長 様  
支部書記長 様

長野県高等学校教職員組合  
執行委員長 細尾俊彦

## 新しい「学びの指標」(案)の導入に対し 討議と批判分析を通じ撤回を求める取組みについて(要請)

「新しい『学びの指標』(案)」(以下「指標」)は、理念の中で「相対的な評価の中で…自己肯定感を喪失したり、苦しんだりする生徒がいた」と分析しています。一方「指標」では、今までの「相対的な学びの評価」を残したまま、新たに生徒の内面や価値観を評価し生徒の「変容」「成長」を見るとしていますが、問題を持っており、長野高教組は「指標」の学校への導入を撤回するように 7 月 31 日に県教育委員会に申入れを行いました。

県教委は動画を作成し「理念」部分の説明を始めました。今後は「評価」項目の動画を作成し配信するとしていますが、「理念」「評価」項目を合わせて議論することが重要です。既に管理職から具体的提案があった分会もありますが、拙速な動きにストップをかけ、議論を重ねましょう。

### 記

学習資料は全教職員（管理職含め）に配布をします。

**1. 支部、分会で学習討議資料を使って「指標」の問題点を明らかにし、教育的な視点で議論に参加します。支部評議員会の学習会には本部から討論に参加し交流をします。**

**2. 職員会議では以下の観点で議論を行います。**

- (1) 「学びに向かう力、人間性等」を学力として数値で評価することに妥当性と信頼性はあるか。
- (2) 「指標」に例示された評価項目で生徒の自己肯定感を育み、苦しんでいる子どもを救えるのか。
- (3) すでに導入されている評価<sup>(※)</sup>と「指標」の評価項目の重複を比較し、「指標」の導入が必要なのか。
- (4) 「指標」導入による一層の現場の多忙化が、教育活動に支障をきたすことはないか。
- (5) すでに管理職から提案がなされた分会は凍結を求め、上記の項目の議論を深めます。

(※)「匿名性を担保した授業アンケート」「高校生のための学びの基礎診断」「ASSESS」「e-Portfolio」

**3. 高教組本部では、県教委の「指標」の矛盾点や問題を指摘し、引き続き撤回を求めます。**

以上